

会 議 記 録

作成部局課名 丸子地域自治センター 地域振興課

開催日	平成 24年 1月 26日(木曜日)	開催時刻	13時 30分から 14時 30分
会議名	丸子地域協議会(平成 23年度第 10回)		
出席委員	齊藤会長、北村副会長、生田委員、池内委員、内田委員、倉沢委員、笹井委員、佐藤委員、清水委員、滝澤委員、中澤委員、成澤委員、松山委員、丸山委員、宮下委員、村松委員、山越委員【欠席】上坂委員、関委員、横山委員		
市側出席者	関丸子地域自治センター長、宮澤センター次長兼地域振興課長、下村地域振興政策幹、芹澤市民生活課長、松井健康福祉課長、矢島産業観光課長、小相沢建設課長、小林消防課長、松村上下水道課長、高野丸子学校給食センター長、大平地域政策担当係長、翠川地域政策担当主査、馬場		

会議次第

1 開会(宮澤センター次長)

- ・配布資料の確認、欠席委員の報告

2 あいさつ(齊藤会長)

先日は、上田市議会議員の皆さんとの懇談会大変御苦労さまでした。有意義な懇談ができたのではないかと思います。今後、年に 1、2回くらいの懇談会ができればと思っています。本日は、報告事項 1件とその他事項ということでお願いしています。また、全体会議終了後に専門部会等も予定しておりますのでよろしくをお願いします。

3 報告

(1) 専門部会における検討状況について(各部会長より部会での協議内容を報告)

【魅力アップ応援事業専門部会】

- ・資料に基づき交流会の概要説明。(詳細は、本日の専門部会で引き続き検討)
- ・市民団体活動状況に関するアンケート調査結果について報告
- ・市民団体交流会の開催を全体会に提案

【 全員一致で市民団体交流会の開催を承認 】

当日資料：市民団体交流会の開催について、市民団体活動状況に関するアンケート調査

【公共交通専門部会】

- ・副部会長に宮下委員を選出
- ・高齢者クラブ連合会役員 3名と建設課担当者らと交え、検討課題 2項目について討議
まりんこ号の運行実態とデマンド交通について
- ・建設課より、「丸子地域循環バスまりんこ号の月別利用者数」「上田市のバス補助状況等」「武石スマイル号の概要」「東御市交通システムの概要」「平成 23年 4月 27日高齢者クラブ連合会でのアンケート結果」についての資料説明を受けた。

(意見)

- ・まりんこ号の利用が非常に少ないので、改善の必要があると思う。

まりんこ号運行ルート及び時間について

- ・現行の東西各 4 便、計 8 便の問題点について、ルート変更や車両変更の問題点について、資料や建設課より提出された変更案を基に討議。
- ・変更案の大きな変更点は、現在毎日同ルートで運行しているものを隔日運行とする、西コースを月・水・金の 6 便、東コースを火・木・土の 7 便とするもの。
- ・隔日でも運行本数が増えた方が便利である、運転手の労働時間短縮による経費節減、この 2 点から変更案が提出された。

(意見等)

- ・運行について、時間変更だけでなくルート変更も検討が必要。
- ・運行委託の検討をしたことはあるか。
- ・年配の利用者も運行日が限定されれば、それに合わせて通院日等を変更すると思う。
- ・自治会でも利用促進に協力してもらいたい。
- ・利便性などに関して、丸子テレビや有線などを通じてもっと PR が必要。
- ・経費面と利便性を考慮すると、今回提示された案は非常に良い。
- ・デマンド交通は経費面での負担が非常に大きい。

(建設課の見解等)

- ・バス運行のために市道を改良することはできない。
- ・危険箇所については、自治会と協議のうえ順次対応していく。
- ・運行の変更、バス停案内の車内放送等の変更に関しては経費がかかる。
- ・運行ルートが日によって限定されることについて、利用者側の意見も伺いたい。
- ・利用希望があり、変更案には深山グリーンヒルを含めてある。
- ・12月22日の丸子地域自治会長会でまりんこ号の検討状況を報告した。
- ・今後は、公共交通（千曲バス、JRバス）と許認可について、料金について、アンケート調査について、変更案実施の工程表等について、高齢者クラブの方を交え討議していきたい。市側と相談し、利用しやすいまりんこ号にしたい。

4 その他

(1) 研究会における検討状況について（各会長より研究会での協議内容を報告）

【地域の産婦人科医療を考える研究会】

- ・1月17日、講師に産婦人科医の塚原みほ子先生を迎え勉強会開催した。産婦人科医の立場から、「地域の産婦人科医療の現状と課題」について講演いただき、懇談を行った。
- ・現在は勉強段階であり、検討事項等は特にない。
- ・本日の全体会終了後、次回予定を計画

【荒廃農地解消研究会】

- ・12月15日、専門部会終了後に研究会開催
- ・現状把握のため、産業観光課長より実情を聞く。
- ・農業委員が先頭に立ち個々の調査をし、市の農政部に働きかけ荒廃農地を少なくする努力をしている。しかし、日本全体の大きな問題でもあり、なかなか手立てが難しいのが現状。
- ・里山も含め、もう少し具体的な絞り込みができたところで検討したい。

【緊急時連絡カード・マップに関する研究会】

- ・ 12月 15日、専門部会終了後に研究会を開催
- ・ 現在上田市で取り組んでいる「緊急連絡網」に関する状況を聞く。
(健康福祉課から)
 - ・ 現在上田市では、災害時要援護者登録制度ということで自治会や社会福祉協議会の協力を得て「住民支え合いマップ」の整備を進めている。
 - ・ 一方、社会福祉協議会では、丸子町時代から「防災福祉マップ」に取り組んでいるが、今後、「住民支え合いマップ」に統一していくという動きで進めている。
- (地域振興課から)
 - ・ 来年 5月頃、自治会連合会長に「自主防災組織災害時対応マニュアル」を提出し、各自治会レベルでの防災対策強化をお願いする。市としては、現在それ以上の取り組み計画はない。
- (意見等)
 - ・ 制度化され、施行されている他の自治体の取り組みを知りたい。情報収集してほしい。
【 収集した情報については、地域振興課で取りまとめる。 】
 - ・ 情報をいただいた段階で、再度前へ進めるべく検討してほしい。

(2) 依田川リバーフロント市民協働事業について (委員長より報告)

- ・ 資料 1に基づき、平成 23年度の活動内容等報告
 - ・ 企画部会 4回開催、整備事業推進のために要望書作成
 - ・ 市と建設事務所へ「依田川・内村川合流域の水辺環境整備に関する要望書」提出
 - ・ 資料に基づき、要望書の要望事項について説明
- 資料 1: 依田川リバーフロント市民協働事業について、依田川・内村川合流域の水辺環境整備に関する要望について、別紙参考図面

(3) 次回以降の会議等日程について (事務局)

- ・ 第 11回丸子地域協議会 平成 24年 2月 23日 (木曜日) 午後 1時 30分
丸子地域自治センター4階 講堂
- ・ 第 12回丸子地域協議会 平成 24年 3月 16日 (金曜日) 午後 1時 30分
3月 16日は上田市正副会長会のため日程変更の可能性あり。現在調整中
- ・ 第 13回丸子地域協議会 平成 24年 3月 21日 (水曜日) 午後 1時 30分

(4) その他

- ・ 地域振興課より前回会議で要望があった事項について資料説明
- ・ 資料 2 平成 23年 12月市議会定例会での久保田議員の一般質問主な答弁内容について。
議会議事録が未完成であるため、議会から議事録の素案(素稿)を提出いただき、その中から抜粋し、概ねの内容報告となる。内容は、市の地域内分権の考え方、地域協議会について、依田川リバーフロント実行委員会の取り組み、地域予算について、地域振興について、丸子温泉郷の課題について等である。詳細は、各自資料をお読みいただきたい。

・資料 3 は、井戸水の利用調査について。最終結果はまだまとまっていないが、危機管理室より丸子地域分の仮集計のデータのみをいただいたもの。自治会に調査協力いただき、井戸の数、飲用可能かどうかを調査した。この調査はあくまで基礎調査という考え方で、もし災害時に上水道が断水した場合、井戸が生活用水（中水道）としての役割として供給可能かどうか、現在調査段階である。具体的な取り組みとしてはまだ確立していないが、大規模災害が想定される中で、どのように使っていくか今後検討していきたいと考えている。災害時に可能な井戸の登録をしていただくなどし、この井戸を情報として提供する中で、有効活用しながら中水道としての活用、災害時に利用できる浄水器などを導入することにより飲料水としても飲用が可能になる。浄水器の備蓄も必要になってくるが、これらのことを危機管理室として考えているということ。

当日資料 2: 平成 23 年 12 月市議会定例会一般質問 久保田由夫議員の主な質問・答弁の内容

当日資料 3: 井戸水利用調査の結果について

主な質疑等の内容

（委員）前回会議で（会議記録 5 ページ上）「議会の回答に併せ、自治センターのあり方の回答もいただきたい」とお願いした。是非その回答をいただきたい。

（センター次長）地域協議会の中で決定、地域協議会として考えていることについては、自治センターとしてもやはり意見をしっかり申し上げた上で、協議会と一緒に推進してやっていくかどうかという部分についての話だったと思う。それについては、基本的にその通りだと思う。地域協議会としての考えは、センターとしても積極的に進めていくという考えはある。自治センターとして協議会から意見書を上げて、それが市全体として方向がなかなか決まってくれないという歯がゆい思いがあると思う。市全体としての考えもあり、一概にその話が形になっていくかわからない部分があるが、センターとしては、市全体を見ながら同じ方向性を持って進めていくということについては今までも考えており、これからも変わらないと思っている。

（委員）行政は、情報も意見もたくさん持っている。地域協議会で出た意見を実行すると、行政に人もお金もお願いしなければいけない。是非、協議の中に加わっていただき、地域協議会で決定したことについては、少なくとも丸子地域自治センターはそれに賛同しているところへ意見を持っていきたい。

（委員）地域協議会にかかわる情報について、全体会議に情報として出すのが必要ではないかと思われるものについては、お互いできるだけ積極的に情報を共有化できるように取り組むことが重要だと思う。自治センターとしても、できるだけ地域協議会に行政的な情報で伝えた方がいいと思われるものは、是非前向き、積極的に提出いただきたい。今回の比較的地域協議会に直接かかわるような情報には目を光らせていただき、できる限り多くの情報を出していただきたい。

（委員）地域の絆再生会議により 7 月から宅配事業がスタートしている。半年ほど経過したが、利用率等の情報があれば教えていただきたい。

（産業観光課長）現在の会員数（登録数）は約 300 名で、利用者数は約 50 名。利用される多くは高齢の方でまた、人数も老夫婦の二世帯や単独世帯が多く、量はあまり多くない。週に 3 回利用、2 回、1 回、一週間 1 回利用といった利用頻度の調査は産業観光課で行っている。対面での宅配であり、直接「大変助かっている」という声も聞いている。

(委員) 今後、事業の見直しや経過等について、報告する予定はあるか。

(産業観光課長) 約半年が経過した中で、課題が出てきた。その中で、もう少し PR していくことが大切ではないかということで、健康福祉課、社会福祉協議会、高齢者クラブ連合会といった方と今月末か来月初めくらいに会議を開き、買い物弱者の皆さんや住宅から買い物に行かれない方のところへこの事業を広げていけるように、会議の場を持って対応していきたいと考えている。

(委員) 議員の方々との懇談会という大変いい機会を今後も是非続けていただけたらと思う。ただ個人的な意見として、今回は武石地域と合同という形の中、司会等を議員の方にやっていただいたということで、議員、私たち協議会委員それぞれがお互いどういうことを重要だと思っているのかといった活発な意見交換という形になりにくかった印象が強い。今後、司会をしていただくのではなく、より意見交換できる形にさせていただけるとありがたい。

(センター長) 先ほどの委員さんの発言に関連してお話したい。市では、地域協議会のあり方や市民協働のあり方を含め、地域内分権の検討会議を進めていた。皆さんにはあまり PR はされていないが、合併以降、地域内分権を第 1、第 2、第 3、第 4 とステージごとに分けて進んでおり、24年度から第 4 ステージ(仕上げの時期)に入る。今までにやってきたことの集大成として、もっと分かりやすい地域内分権の姿とは何か、市長から副市長に対してもう少し検討してほしいとの話があり、市長を中心として部局長が入り、検討会議を開催した。先般それがまとめ、市長に報告するとともに部長会議で報告があった。市のオーソライズ(公認)されたものだと決定された。できればその内容を地域内分権や市民協働を担当している政策企画局、市民参加・協働推進課から地域協議会の場で説明してもらいたいと考えている。この協議会委員さんがいる間に是非機会を設けたいと思っている。かなり斬新というか上手くまとまっている、分かりやすいが難しいなと感じる部分もある。市もそのような行動を取っているという部分を御理解いただきたい。

5 閉会 14:30 地域協議会終了後、部会開催(第 2、4 会議室)